

TOPICS

[Vol.43]

糖尿病による眼の病気

眼科 西田 保裕

1. 知らず知らずに忍び寄る糖尿病網膜症

糖尿病は血液中のブドウ糖濃度が異常に高くなって、全身の血管や神経をひどいに障害し、さまざまな合併症を引き起こす病気です。糖尿病の合併症として知られているのが、「腎症」、「神経障害」、そして眼の網膜に障害が起

こる「糖尿病網膜症」です。

糖尿病網膜症の初期では自覚症状が乏しいため、つい眼科受診を先送りにして、気がつかないうちに病気が進行します。このため視力低下などの自覚症状が現れる頃には網膜症がかなり進

行してしまっていることとなります。

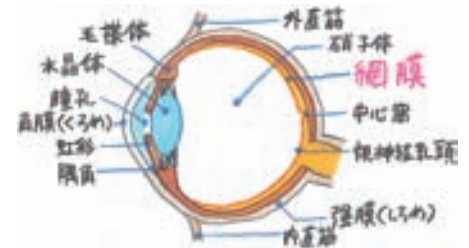
日本や欧米では失明原因の上位を占め、糖尿病網膜症による成人（30歳～50歳の働き盛り）の中途失明（生まれつきでない失明）が大きな社会問題となっています。

2. 糖尿病網膜症の原因と症状

網膜はカメラのフィルムに相当する神経の組織です。豊富な栄養と酸素を網膜に供給するため、網膜内にはたくさんの毛細血管が走っています。糖尿病網膜症は糖尿病によりその毛細血管

が障害されることで発症する眼の病気です。

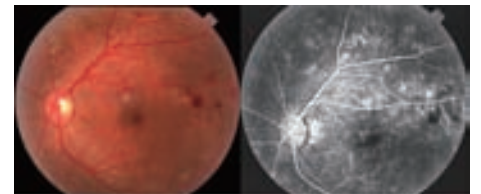
糖尿病網膜症は、進行の過程にしたがって単純、増殖前、増殖の3段階に分けられます。



◆単純糖尿病網膜症

網膜の毛細血管が障害され、小さな血管のコブや出血が現れます。血液中の脂質やタンパク質が漏れ出して硬性白斑と呼ばれるシミを作ったり、余分な水分が漏れ出して網膜に浮腫(腫れ)

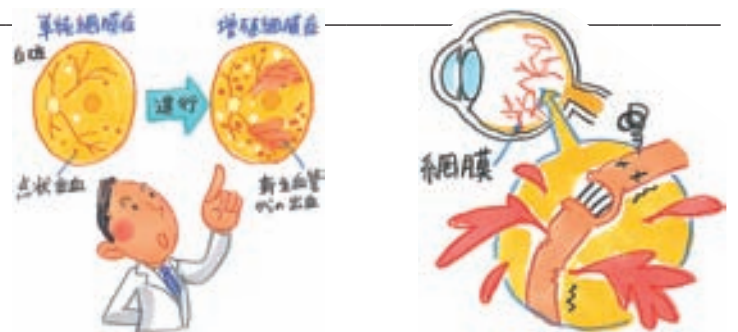
を起こすこともあります。網膜の中心である黄斑に病変がおよぶと、視力が低下します。



◆増殖前糖尿病網膜症

さらに症状が進行すると、毛細血管が閉塞し、虚血が起こります。虚血とは、酸素や栄養が十分供給されなくなる状態です。多くの患者さんは、この時期から視力低下を自覚するようになり、これを放置すれば網膜症はさら

に進行していきます。



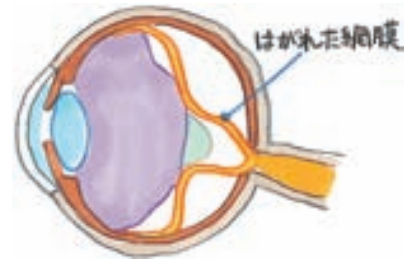
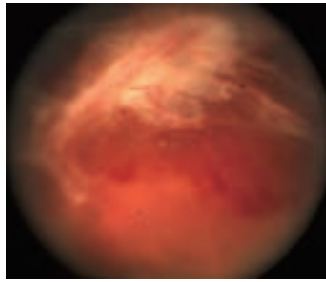
◆増殖糖尿病網膜症

虚血が進行すると、血液を補おうとして網膜から硝子体に向かって新たな血管、すなわち新生血管が発生します。しかし、この新生血管は非常に未熟な

ため、本来の毛細血管の機能が果たせません。そのため、血液成分の漏出や出血を増加させ、病状をさらに悪化させる結果となります。また、硝子体は

ゼリー状の組織でできているため、しばしば大量の出血がとどまってしまう、視力が急激に低下します。さらに進行すると、新生血管を骨格に、増殖組織

といわれる線維性の膜が硝子体中に現れ、これが網膜を引っ張って網膜剥離を引き起こします。さらに眼圧が上昇して緑内障になることもあります。最終的に、網膜剥離や緑内障で失明することになります。



3. 糖尿病網膜症の治療

治療の原則は内科による血糖コントロールで、糖尿病網膜症の発症を予防したり、進行を抑えたりすることができます。ただし、糖尿病網膜症が発症し進行すると、眼科的治療が必要にな

ります。眼科の代表的な治療法として網膜光凝固術と硝子体切除術があります。また、最近では眼内薬物療法も可能となってきました。



◇網膜光凝固術

レーザー光で網膜を熱凝固する治療法です。単純糖尿病網膜症では網膜の浮腫を改善させる目的で行います。増

殖前糖尿病網膜症と増殖糖尿病網膜症では、周辺網膜を凝固して網膜全体の酸素需要を低下させ、新生血管の発生

や進行を予防します。

◇硝子体切除術

硝子体への出血、増殖組織を切除・吸引する高度な手術法です。本院でも

この手術を積極的に実施しており、糖尿病網膜症で失明する患者さまが大幅

に減少しています。

◇眼内薬物療法

網膜の浮腫や新生血管を軽減させる目的で、硝子体内に薬物を注射する治

療法が最近開発されています。本院でも積極的にこの治療法を実施し、成果

をあげています。

4. 最後に

糖尿病患者さまには、内科での適切な血糖コントロールが最も重要です。しかし、糖尿病網膜症の発症の有無や、程度を評価するためには眼科への定期的な受診が必須であり、糖尿病網膜症の早期発見、早期治療が重要です。

糖尿病網膜症を発症していない人でも糖尿病と診断されたら、半年から1年に1度、糖尿病網膜症を発症してしまった場合は数カ月には定期的に眼科を受診して眼底検査を受けることが大切です。



滋賀医科大学医学部附属病院 理念

「信頼と満足を追求する全人的医療」

滋賀医大病院ニュース第16号別冊 編集・発行：滋賀医科大学広報委員会
〒520-2192 大津市瀬田月輪町
TEL：077(548)2012(企画調整室)
過去のTOPICS(PDF版)はホームページでご覧いただけます。

●理念を実現するための 基本方針

- 患者さま本位の医療を実践します
- 信頼・安心・満足を与える病院を目指します
- あたたかい心で最先端の医療を提供します
- 地域に密着した大学病院を目指します
- 世界に通用する医療人を育成します
- 健全な病院経営を目指します